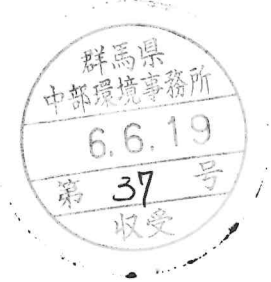


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 17日	
群馬県知事     あて	
	提出者 〒372-8550 住 所 群馬県伊勢崎市粕川町1801 氏 名 山崎製パン株式会社 伊勢崎工場 執行役員工場長 板橋 進 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0270(23)3111 (代)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	山崎製パン株式会社 伊勢崎工場
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市粕川町1801
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E09食品製造業（製餡・加工食品・ジャム・クリーム 他）
②事業の規模	333.14億円
③従業員数	684名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥⇒脱水⇒乾燥⇒肥料化 ・動食物性残渣⇒肥料化・飼料化 ・廃プラスチック⇒破碎・焼却 ・ガラスくず⇒粉碎・原料化 ・鉄くず⇒破碎・金属原料化

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者—工場長

管理責任者—総務課長 (担当廃棄物：廃プラスチック、動植物性残渣、ガラス屑)  
廃棄物適正処理の指導、廃棄物の減量化・再資源化の計画立案

管理責任者—工務課長 (担当廃棄物：汚泥、金属くず)

工場内中間処理施設の運営・保守・管理

事務局—総務課 廃棄物のデータ管理、減量化・再資源化の計画立案

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類

汚泥

廃プラスチック類

排 出 量

13,612 t

692 t

(これまでに実施した取組)  
残渣等の付着物を排水と一緒に流さないよう教育することで、汚泥排出量の削減を図った。

②計画

産業廃棄物の種類

汚泥

廃プラスチック類

排 出 量

13,475 t

685 t

(今後実施する予定の取組)  
金属くずを有価売却していく。

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
廃プラの有価売却物に対応可能な委託業者を選定。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
廃プラを細分別し、更に有価対象物を選定していく。

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリート くず及び陶磁器くず	金属くず	
3,262 t	2.53 t	22.93 t	

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリート くず及び陶磁器くず	金属くず	
3,229 t	2.50 t	22.70 t	

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	13,258 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥乾燥機のメンテナンスを行い運用の安定化を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13,125 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記取り組みを継続実施していく。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	354 t	692 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	354 t	117 t
	再生利用業者への 処理委託量	354 t	692 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	263 t
	（これまでに実施した取組） 廃プラの再資源化の質の向上（熱回収→固形燃料化）に対応可能な委託業者を選定中。		

(第4面) -2

t	t	t	t

t	t	t	t

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	
3,262 t	2.53 t	22.93 t	t
1,226 t	t	t	t
3,262 t	2.53 t	22.93 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	350 t	685 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	350 t	116 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	350 t	685 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	260 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラの再資源化の質の向上(熱回収→固形燃料化)に対応可能な委 託業者の選定を継続。		
※事務処理欄			

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリート くず及び陶磁器くず	金属くず	
3,229 t	2.50 t	22.70 t	t
1,214 t	t	t	t
3,229 t	2.50 t	22.70 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t